



本町ほのぼのだより 第47号

発行：中野区立本町図書館 中野区本町2丁目13番2号 Tel 03-3373-1666

発行年月日：平成31年2月23日 第47号

第47回 本町図書館 「個性ある図書館」展示

徒然なるままに…

本町図書館では、『文化・芸術・芸能』に関する資料を、絵画や音楽、工芸、伝統芸能など幅広い分野にわたって収集・展示をしております。

第47回目となる今回は、「徒然なるままに…」と題して、日本文学の中から「随筆や紀行文、日記文学」をテーマにした展示をお届けします。

これからだんだんと暖くなり、旅行に最適な季節がやってきます。実際に旅行に行くのも素敵ですが、時間がとれない方は書面上での旅はいかがでしょう。今夜の旅はお気に入りの地へ再訪ですか？未知の土地にしましょうか？

また、いろいろな人の随筆や日記を読み、「自分」とは違う「他人」の見方や感じ方に触れると、いつもと同じ日常に新しい発見や感動が見つかるかもしれません。

日本には、『土佐日記』や『枕草子』『奥の細道』など優れた随筆や紀行文などが数多く残っています。現代まで読みつがれたこれらの傑作のほか、現代の随筆(エッセイ)・紀行文もあわせてご紹介します。



展示場所：本町図書館 2階書架

展示期間：平成31年2月23日(土) ～

平成31年4月25日(木)

※ 展示資料は貸出もできます。

随筆

随筆とは、あることについて考えたり感じたりしたことを自由に書いた文章のことです。また、実際に体験したことなどについて、自分の意見や感想をまじえて書くことも含まれます。日本の随筆文学の始まりは、清少納言の『枕草子』と言われています。その後、鴨長明の『方丈記』や吉田兼好の『徒然草』などの優れた随筆が書かれました。江戸時代にも、新井白石が『折たく柴の記』を、本居宣長が『玉勝間』を著わしました。知識人だけではなく、寛政の改革を行った松平定信が『花月草紙』を書くなど、多くの随筆が書かれました。

●代表的な随筆

参照：『社会人のためのビジュアルカラー国語百科』大修館書店編集部／編 大修館書店

作品名	著者	成立年代
枕草子	清少納言	平安時代(11世紀初頭)
方丈記	鴨長明	鎌倉時代(1212年)
徒然草	吉田兼好	鎌倉時代末期(14世紀)
折たく柴の記	新井白石	江戸時代(1716年頃)
玉勝間	本居宣長	江戸時代(18世紀末から19世紀初頭)
花月草紙	松平定信	江戸時代(1818年)
北越雪譜	鈴木牧之	江戸時代後期(19世紀)

春はあけぼの・清少納言の『枕草子』

「春はあけぼの。やうやうしろくなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。」

(『絵で読む日本の古典 3 枕草子・徒然草』より抜粋)



清少納言は、『枕草子』の第一段で「春は夜明け、夏は夜、秋は夕暮れ、夜は早朝がいい」とあげています。自然に対する、清少納言の美意識と感性が示されています。『枕草子』には自然の他に、様々な事柄が書かれています。例えば、「めったにないもの」として彼女があげているのが、「舅にほめられる婿、姑に思われる嫁」。また、「にくいもの」としてあげているのが、「急ぎの用の時長居する人」などをあげています。

つれづれなるままに・吉田兼好の『徒然草』

「つれづれなるままに、日くらし硯にむかひて、心にうつりゆくよしなし事を、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。」(『絵で読む日本の古典 3 枕草子・徒然草』より抜粋)

この「つれづれなるままに(これとってすることがないままに)」という書き出しが、随筆の書名になりました。作者の吉田兼好は、鎌倉時代の終わりと室町時代のはじめにかけて生きた人です。30歳の頃に出家をしました。その後は、歌人として名を馳せ、和歌四天王の一人に数えられています。歌道、仏教、漢籍にも通じた、インテリでした。

『徒然草』は、乱世に生きた兼好が書きとめていたものをまとめたもの、と言われています。



参考文献 ◆『社会人のためのビジュアルカラー国語百科』大修館書店編集部／編 大修館書店

◆『絵で読む日本の古典 3 枕草子・徒然草』田近洵一／監修 ポプラ社

紀行文



紀行文とは、旅行中の体験や感想などを書いた文のことです。平安時代は、円仁が記した『入唐求法巡礼行記』や紀貫之の『土佐日記』を始めとして、菅原孝標女の『更級日記』などが書かれました。鎌倉時代には、京都・鎌倉間の往復が増え、『東関紀行』や『海道記』などが著されました。江戸時代になると旅行がしやすくなり、松尾芭蕉の『奥の細道』のほかにも多くの紀行文が書かれるようになりました。明治以降も、さまざまな作家や歌人が紀行文を書いています。

●代表的な紀行文 参照：『社会人のためのビジュアルカラー国語百科』大修館書店編集部／編 大修館書店

作品名	著者	成立年代
土佐日記	紀貫之	平安時代（935 年頃）
更級日記	菅原孝標の女	平安時代（11 世紀後半）
海道記	不詳	鎌倉時代（1223 年頃）
東関紀行	不詳	鎌倉時代（1242 年頃）
十六夜日記	阿仏尼	鎌倉時代（1280 年頃）
筑紫道記	宗祇	室町時代（1480 年）
野ざらし紀行	松尾芭蕉	江戸時代（1687 年頃）
奥の細道	松尾芭蕉	江戸時代（1694 年頃）



女性として書いた・紀貫之の『土佐日記』

歌人、学者、官僚などの様々な顔を持つ紀貫之。国司としての任期を終え、土佐（現在の高知県）から京都に帰還するまでの 55 日間を記したのが『土佐日記』です。『土佐日記』の特徴の一つは、“ひらがな”を使って書かれたことです。二つ目は、国司に仕える女性が書いたように見せかけていることです。当時、“ひらがな”を使った文章は女性が書くものとされていました。ですので、女性が書いたよう思わせたとされています。

※画像は国立国会図書館ウェブサイトより転載。



江戸時代の旅・松尾芭蕉の『奥の細道』

『奥の細道』は、松尾芭蕉が書いた紀行文です。芭蕉は敬愛する西行の 500 年忌のときに、江戸を出発し、奥羽から北陸を巡る旅を行いました。『奥の細道』が書かれた江戸時代は、街道が整備され、宿場や茶屋が多くできて、旅がしやすくなりました。交通手段は徒歩が中心で、男の人では 1 日 40 キロメートル歩いていました。大きな川には橋がなく、渡し船や川越し人足に運んでもらいました。

参考文献 ◆『社会人のためのビジュアルカラー国語百科』大修館書店編集部／編 大修館書店

◆『絵で読む日本の古典 5 おくのほそ道』田近洵一／監修 ポプラ社



日記文学

日記文学とは、日記として書かれたもののなかで、文学的価値の高いものをいいます。平安時代、紀貫之が土佐から帰京するときのことを描いた『土佐日記』が日記文学の始まりとされています。その後、『蜻蛉日記』『紫式部日記』『和泉式部日記』『更級日記』など作品が書かれました。

●代表的な日記文学 参照：『社会人のためのビジュアルカラー国語百科』大修館書店編集部／編 大修館書店

作品名	著者	成立年代
土佐日記	紀貫之	平安時代（935 年頃）
蜻蛉日記	藤原道綱の母	平安時代（10 世紀後半）
和泉式部日記	和泉式部	平安時代（11 世紀）
紫式部日記	紫式部	平安時代（1010 年頃）
更級日記	菅原孝標の女	平安時代（11 世紀後半）
讃岐典侍日記	藤原長子	平安時代（1108 年頃）
たまきはる	藤原俊成の女	鎌倉時代（1219 年）
十六夜日記	阿仏尼	鎌倉時代（1280 年頃）

セキララ結婚生活・藤原道綱の母の『蜻蛉日記』

藤原道綱の母は、歌人として名高く、また、美人であったと言われています。

その彼女がお婿さんに選んだのが、藤原兼家。藤原北家に生まれ、後には摂政まで上り詰める、政界の実力者でした。そして、大変な女好き。道綱母は、兼家との結婚生活で嫉妬に狂ってしまいます。夫が訪ねてきても居留守を使ったり、尼になると言って寺に行ったところを夫が止めに行ったり…。平安時代の結婚生活をセキララに書いたのが、この『蜻蛉日記』です。



※画像は国立国会図書館ウェブサイトより転載。

遺産争いには負けられない！！阿仏尼の『十六夜日記』

藤原定家の息子・藤原為家は、父に劣らず歌人として有名でした。若い頃、鎌倉幕府で実力者の宇都宮頼綱の娘を娶り、為氏のほか男の子を何人も儲けます。しかし、晩年には側室の阿仏尼との間に儲けた為相を溺愛しました。そして、為家は初め為氏に譲ると約束していた所領を為相に譲ると遺言します。為家の死後、為氏と為相の間で所領を巡って遺産争いが勃発しました。可愛い我が子のため、阿仏尼は京都から鎌倉まで下ります。鎌倉幕府に所領の相続について訴えます。所領争いは解決しませんでした。阿仏尼は『十六夜日記』を記しました。この作品は、文学としてだけでなく、鎌倉時代の史料としても貴重な作品です。

参考文献 ◆『文学史のおさらい』川島周子／著 自由国民社

◆『歴史をさわがせた女たち 日本篇』永井路子／著 文藝春秋

現代の随筆・紀行文・日記文学

現代では、随筆はエッセイ（エッセー）と表記されることが多く、作家等の文筆業の人や芸能人を中心に実に様々な分野の人がエッセイを書いていて、エッセイを書く人はエッセイストと呼ばれています。

また、紀行文も旅行家の人を書いたもの以外に、作家として著名な人の書いた作品が多くあります。

中野区立図書館では、エッセイは文学の著者別の棚（9類と表示されている棚）に置いている本が多いのですが、作品によっては内容や著者の本業に沿って0～8類に分類されていることもあります。紀行文は主に歴史（2類）の棚に配架されています。

下記は本町図書館が所蔵している、昭和以降に活躍した人のエッセイ・紀行文の一部です。

	作品名	著者	著者の本業	分類記号
エッセイ	昭和と歌謡曲と日本人	阿久 悠	作詞家	914.6 アク
	モモのかんづめ	さくらももこ	漫画家	914.6 サク
	三谷幸喜のありふれた生活	三谷 幸喜	脚本家	914.6 ミタ
	大人の流儀	伊集院 静	作家	914.6 イジ
	貴様いつまで女子でいるつもりだ問題	ジェーン・スー	作詞家・ ラジオパーソナリティ	367.2 ジ
	働く男	星野 源	音楽家・ 俳優・作家	772.1 ホ
	乗り物紳士録	阿川 弘之	作家	914.6 アガ
	銀の森へ	沢木 耕太郎	作家	778.0 サ
紀行文	深夜特急			915.6 サワ
	街道をゆく（本町は全集に収録あり）	司馬 遼太郎	作家	915.6 シバ
	宮脇俊三鉄道紀行セレクション	宮脇 俊三	作家	291.09 ミ



技術が発展しインターネットが普及した結果、一般人が手軽にWEB上でエッセイや紀行文・日記を发表することができるようになりました。2019年現在は写真・短文を主とする各種SNS（ソーシャルネットワークサービス）が個人利用の主流ですが、まとまった量の文章を发表するには「ブログ」という形態があります。

ブログ(blog)は“WEB LOG（ウェブログ）”の略で、日記形式のウェブサイトのことです。時にはWEB上で人気が出たので書籍として出版、となることもあります。また文章だけではなく漫画やイラストで表現した「コミック(漫画)エッセイ」が多数あるのも特徴です。

インターネット接続環境さえあれば、思い立ったらすぐに发表できるのがWEBの長所です。「自分も…」と思い立ったならば、こんな図書もあります。

- ◆『旅行ライター入門講座』 ピート・オニール／著 バベルプレス
- ◆『エッセイをどう書くの？こう書いた！』 辻 真先／講師 展望社
- ◆『簡潔で心揺さぶる文章作法』 島田 雅彦／著 KADOKAWA





展示図書リスト

書名	著者	出版者	出版年	分類記号
折たく柴の記	新井 白石 著	岩波書店	1999	121.5 ア
江戸近郊道しるべ	村尾 嘉陵 著	講談社	2013	291.36 ム
下級武士の食日記	青木 直己 著	筑摩書房	2016	383.8 ア
父の終焉日記・おらが春	一茶 著	岩波書店	1992	911.35 コ
私の方丈記	三木 卓 著	河出書房新社	2016	914.42 ミキ
東関紀行	玉井 幸助 校訂	岩波書店	1988	915.46 ト
芭蕉紀行文集	松尾 芭蕉 著	岩波書店	1971	915.5 マ
五足の靴	五人づれ 著	岩波書店	2007	915.6 ゴニ

随筆・日記文学・紀行文について調べてみよう！

今回ご紹介した他にも随筆、日記文学、紀行文に関する図書はたくさんあります。また、図書のほか、雑誌記事、新聞などでも調べられます。いろいろな情報源を使って、調べてみましょう。

1. キーワードを使って調べよう

次のキーワードを参考にして調べよう。

随筆	エッセイ	紀行	旅日記	旅行記
日記	日記文学	日並記(ひなみき)	私記	絵日記



2. 基本的な情報源を使って調べよう

辞書・事典類を使って、テーマについての基本的な事柄を押さえよう。

書名	請求記号	所蔵館
総合百科事典ポプラディア	031 ソ(黒)	本町・中央・野方・南台・鷺宮・東中野・江古田・上高田
日本大百科全書	031 ニ	本町・中央・野方・鷺宮・東中野・江古田
日本古典文学大辞典	910.2 ニ	本町・中央・鷺宮・上高田
日本近代文学大事典	910.26 ニ	本町・中央・南台・鷺宮・東中野・江古田・上高田
新潮日本文学辞典	910.3 シ	本町・中央・野方・南台・鷺宮・東中野・江古田・上高田
日本随筆辞典	914.5 ニ	中央・東中野
日記文学事典	R915.0 ニ	中央

3. 図書を探そう

図書館では、関連分野ごとに図書が並んでいる。【テーマの棚】を実際に見て、図書を探そう。

分野	分類番号	分野	分類番号	分野	分類番号
日本文学(一般)	910	日本文学 (エッセイ、随筆)	914	日本文学(日記、紀行)	915

図書館のホームページやOPACを使って、図書を探そう。



【中野区の図書館に図書があるか】

●中野区立図書館ホームページを使って調べよう。

→ <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/index.asp>

【東京都内の公共図書館に図書があるか】

●東京都立図書館のホームページを使って調べよう。

→ <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

【国立国会図書館や全国の都道府県図書館に図書があるか】

●国立国会図書館のホームページを使って調べよう。

→ <http://www.ndl.go.jp/>

4. 雑誌・新聞記事を探そう

●関連の雑誌を調べよう。

雑誌名	出版者	所蔵館
ダ・ヴィンチ	KADOKAWA	本町・中央・野方・南台・鷺宮・東中野
新潮	新潮社	本町・中央
小説すばる	集英社	本町・上高田

※他にも、「サライ」などの雑誌で、日本文学についての特集が組まれることがあります。

●中央図書館参考室のオンラインデータベースを使って、調べよう。

日経テレコン21	1975年からの日経4紙(経済・産業・金融・流通)の新聞全文(収録範囲は媒体によって異なります。1981年9月までは見出しと一部記事の抄録のみ)や企業情報、人事情報が検索可能。
聞蔵Ⅱビジュアル	朝日新聞のほか、知恵蔵・AERAなどが検索可能。
MAGAZINE PLUS	雑誌記事や論文情報検索が可能。
WHO PLUS	歴史上の人物から現在活躍中の人物について検索可能。
官報情報検索サービス	1947年から当日までの官報が検索可能。
D1-Law.com	判例などの法律情報が検索可能。



5. インターネットで調べよう

●日本古典籍総合目録データベース(<http://base1.nijl.ac.jp/~tkoten/>)

国文学研究資料館が公開している、古典籍の総合目録です。古典籍の書誌・所在情報などが調べられます。

●青空文庫(<https://www.aozora.gr.jp/>)

著作権保護期間の終了した作品のほか、著者が公開に同意した作品などをWEB上で公開しています。

本町図書館からのお知らせ

本町図書館「個性ある図書館」展示「徒然なるままに…」はお楽しみいただけましたでしょうか。これからもみなさまの身近にある、お役に立つ図書館、新しい発見のある図書館を目指して、スタッフ一同取り組んでまいります。

☆おはなし会☆

毎週土曜日 11:00～11:30

第4水曜日 15:30～16:00

児童室にて開催中！

第4土曜日は乳幼児向けの
「おひざでだっこのおはなし会」

☆個性づくり展示☆

下記の個性づくりの本は展示しています。

第43回・漫画

第44回・世界の妖怪

第45回・児童文学

第46回・日本の遊び

第1回～第42回の
個性づくりの本は
一般書架にあります。

児童コーナー

春のこども会

平成31年4月6日(土)

11:00～12:00

『本町ほのほのだより』
第48号は4月27日
発行予定です。

☆3・4月の休館日のご案内☆

<3月>

11(月)

29(金)

<4月>

8日(月)

26日(金)

